



カリオン

Vol. 22



2014年3月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 船曳健次
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

大塚副社長 卒業式 ご臨席



平成26年3月7日(金)、日本赤十字社の大塚義治副社長をはじめ多数の来賓のもと、平成25年度卒業式が行われました。

「今年はまさに東日本大震災から3年、赤十字の本来の使命は災害救護活動にある。救護活動で多くの看護師が活躍し、看護の力の大きさを感じた。赤十字の精神と看護の心は基本と同じにする。赤十字の心を常に持ち、看護の専門職としてこれから歩んでいって下さい。」と、大塚副社長より祝辞を頂きました。

36名の卒業生は希望と期待を胸にそれぞれの道に進んでいきます。 (副校长:柳めぐみ)

後期行事予定 (平成26年3月~5月)

3月	5日(水) 卒業を祝う会・講演 (石巻赤十字看護専門学校専任教師 後藤ひろ子先生) 20日(木)~4月3日(木) 春季休業	7日(金) 卒業式 25日(火) 第103回看護師国家試験 合格発表
4月	2日(水) 入学前オリエンテーション 8日(火) 入学式 24日(木)~28日(月) クラスI基礎看護学実習I-1	4日(金) 新学期開始 11日(金) 新入生歓迎会 29日(火)~5月6日(火) 保健週間
5月	10日(土) 病院フェスタ 28日(水)~5月30日(金) クラスI基礎看護学実習I-2	12日(月) ナイチンゲール祭

姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

【教育目標】

- 1)人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康的保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

卒業を祝う会

3月5日(水)

午前

講演 東日本大震災の経験から～看護学生に望むこと～
講師 石巻赤十字看護専門学校 後藤 ひろ子先生



本校では毎年、戴帽、卒業を祝って講演会や演奏会を計画しています。今年は、学生の希望を取り入れて、上記テーマで講演会を開催しました。

自分達と同じ立場の看護学生が、自分も被災しながら、小学校で4日間、不眠不休で被災者の救護を行ったことに深い感銘をうけていました。



午後 自治会主催卒業を祝う会

「先輩方に感謝と激励の思いを伝える会にしよう」という目標を委員で立てたのは昨年の11月のことでした。この目標は、準備を進めていく中で意見が分かれたとき、いつも委員を原点に立ち返してくれました。当日は学生全員で先輩方をおもてなしすることができました。目標通り、感謝と激励の思いを伝えることが出来たと思います。目標通り、感謝と激励の思いを伝えることが出来たと思います。先輩方が喜んでくださり本当に良かったです。ご協力ありがとうございました。

(卒業を祝う会委員長)



3年間を振り返り、講義や実習、国家試験の勉強と想像以上に大変でした。特に実習では患者さんとの関わりに喜びを感じる一方、悩むこともありました。しかし、クラスの仲間や先生、実習先の方々の助言を通して、患者さんの気持ちに寄り添うことが大切なのだと学ぶことができました。卒業しても、自分の理想とする看護が具現化できるよう邁進していきたいと思います。

(クラスⅢ)

卒業するにあたり
学生の思い、誓い

三年間の学校生活を終え、卒業を迎えることができました。この学校に入学し、たくさんの人と出会い、たくさんの事を学びました。実習や、国家試験に向けて勉強した日々はとても忙しかったですが、充実した日々を送ることができました。これから、支えてくださった方たちへの感謝の気持ちを忘れず、患者さんや家族の思いに寄り添うことのできる看護師になりたいです。

(クラスⅢ)

姫路赤十字看護専門学校同窓会便り



卒業生に豪華な
カトレアのコサージュを贈っていた
だきました。

3年は長いようであっという間でした。同じ夢を追う仲間、先生、家族、多くの人に支えられ、乗り越えられたことに感謝の気持ちと達成感でいっぱいです。しかしここがゴールではなくて、本当のスタート。私は保健師めざして進学しますが、離れていても同じように頑張っている仲間がいることを忘れずに、4月からまた新たな環境で自分の目標に向かって頑張りたいと思います。

(クラスⅢ)

1年生

授業概要：「生活過程の中でつくられてきた、身体、認識、関係性、行動様式などをもつその人」を、より深く理解し、日常生活上および診療時の援助を、「その人」の安全・安楽・自立を考えながら学ぶ。体験をリフレクションし、自己への気付きをおこなう。

3 東 (循環器内科・心臓血管外科・眼科)

病態が難しく、患者さんの病気について理解するのが大変でした。実習メンバーで分からぬところを教え合ったり、援助方法を相談したりして実習を乗り切ることができました。



5 西 (脳神経外科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科)

1つ1つの事に対して根拠を考えることが難しかったです。しかし、先生や看護師さんにアドバイスを頂きながら、毎日緊張感を持って取り組めました。患者さんとたくさんお話できて嬉しかったです。



5 東 (整形外科・リハビリテーション科)

最初は患者さんのために何ができるのかわからず困ったけれど、先生や指導者さん、グループのメンバーで話し合い、自分達にできることを見つかり、だんだん時間が過ぎるのが早くなりました。



6 西 (外科・形成外科・皮膚科)

実習の時だけでなく、日頃の生活から見直していくかなければいけないことが見つかりました。看護は、観察から始まるなど感じました。また、情報共有の大切さを学びました。



6 東 (外科)

患者さんの術前・術後の経過を見て回復の早さに驚きました。メンバーで助け合い、学びを共有出来ました。実習で学んだ事を活かしてこれからも勉強していきたいです。



7 西 (泌尿器科・内科・眼科・脳神経外科)

自分達の考える援助を行うにあたる観察項目や根拠がどれほど患者さんに直接関わることで、重要なものなのかな実感しました。これから勉強や練習をし、知識や技術を身につけていきたいです。



7 東 (内科)

初めての本格的な実習で緊張しましたが、患者さんの性格を知ること、ADLに合わせた看護計画を立てることを学びました。また、最初と比べ協力することができるようになったと思います。



8 東 (内科・麻酔科)

最初は何をして、どう動いたらよいのか分からなかった。しなければならないことで、頭の中がいっぱいになって息詰まることがあったが、患者さんの笑顔が見れ、「ありがとう」という言葉を聞くと、頑張れました。



2年生

～2年生から始まった、母性・小児看護学実習～

4 西 (母性看護学実習)

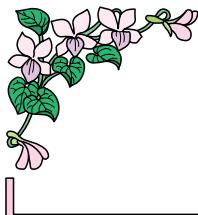
分娩という大きなライフイベントに立ち合わせていただき、生命の誕生のすばらしさを感じることができました。分娩が、お母さんと赤ちゃんにとって、かけがえのない思い出となるよう、バースプランをもとにお母さんの希望に沿った援助をすることの必要性を感じました。また、お母さんと赤ちゃんにとって退院がスタートです。入院中から退院後の生活をイメージし、できるだけ不安なく育児に取り組めるよう、その人に会った方法をお母さんとともに考えることが大切だと感じました。

8 西 (小児看護学実習)

発達段階を観察しながら患児と遊んだり、コミュニケーションをとりながら関わり、その患児がどのような気持ちで入院しているのか、治療に対してどう思っているのかを学ぶことができました。また、子供につきっきりの家族にどのようにして休息をとってもらったり、生理的なニーズを満たしてもらうかを考えて関わっていかなければならぬことも分かり、子どもが入院することによる家族への影響も知ることができました。



私を成長させ、見守り続けてくれた両親、友人、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ひとつひとつの出会いを大切にし、感謝の気持ちを忘れずいつも笑顔で頑張っていきたいと思います。



113回生から ～3年間の思い～

3年間で得た仲間や思い出を大切にし、前進し続けます。私は止まりません。



3年間の学びを大切にし、これからも成長していけるように頑張っていきたいと思います。



患者さんの先を見据えて行動し、安心した看護を行います。



113回生のみんなと楽しい学校生活が送れました。これからも日々精進していきたいと思います。



多くの人たちの支えで3年間乗り越えました。今後も学習しながら頑張りたいと思います。



初心を忘れず、これからも日々努力していきたいです。

患者さんに笑顔で接する看護師になります。



常に笑顔で人に安心を与えられる看護師を目指します。



卒業できて良かったです。看護師として一生懸命がんばる!!



この3年間でたくさんの出会いがあり、たくさんの学びがありました。温かみのある看護師になれるように日々頑張りたいです。



患者さんが笑顔になる看護師になります!!



たくさん的人に支えられてここまでこれた。ありがとう😊これからも、もっと頑張る!!

「夢」が叶う時がきました。人との出会いに感謝し、心のこもった看護師になりたいです。



患者さんとの出会いを大切にしてこれからも笑顔で頑張ります!!



みんなと卒業できて良かったです！113回生のみんなありがとう！



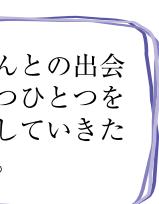
3年間頑張りました。これからも頑張ります!!



何事も気合いで乗り切っていきたいです。



患者さんとの出会いひとつひとつを大切にしていきたいです。



3年間一緒に頑張ってきた仲間と共に、強くたくましく頼れるナースになります！



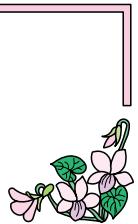
3年間、実習や勉強大変でしたが無事終わって良かったです。これからは自分の理想とする看護師に近付けるように頑張ります。



とても楽しい3年間でした!!これからも笑顔を忘れず頑張ります!!



のメッセージ いを込めて～



笑顔で、患者さんを安心させる看護師になります！



113回生のみんなとだから今まで楽しく頑張ってこれたと思います！
ありがとうございます😊



様々な事を学び経験し、自分を成長させていきたいです。



楽しい学生生活でした。卒業後も元気に頑張りたいです!!!



3年間ありがとうございました。感謝の気持ちを大切に、ステキナースを目指します!!



楽しい3年間でした。一つ一つの出会いを大切にしたいです♡



実習や勉強を頑張れたのもみんなのおかげだと思います。春から就職する人、進学する人様々ですが自分の目標を持って頑張りましょう。



これからも笑顔で頑張りたいです。



たくさんの人の理解や支え、ご指導あって卒業することができました。感謝しています。恩返しができるよう努力し続ける看護師になりたいです。



たくさんの方の支えで無事卒業を迎える事ができました。患者さんの気持ちに寄り添うことのできる看護師を目指します。

①
一人暮らし
シリーズ

拝啓、お元気ですか。

～一人暮らしをしている学生からのメッセージ～



当初は、家事や一人で過ごす環境に慣れず不安でしたが、この3年間で家族と過ごせることの幸せを感じました。一人では大変なことも仲間と助け合い、楽しい学生生活を送ることができました。また帰ったらおいしい手料理をたくさん作ってもらおうと思います。

(クラスⅢ)



置かれた場所で咲きます✿



多くの方に助けられて卒業を迎えることができました。これからも感謝の気持ちを大切に頑張っていきたいです。

1年間カリオンを作成させて頂きました広報委員一同です。



クラスⅢ



クラスⅡ

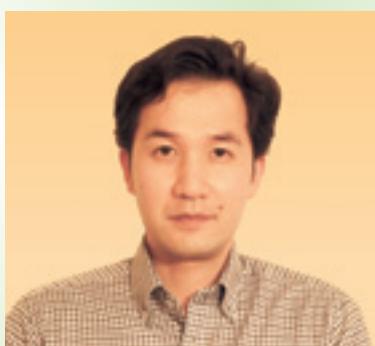


クラスⅠ

ありがとうございました



講 師 紹 介



学生時代には哲学や倫理学を学び、姫路赤十字看護専門学校では「人権と赤十字」を担当させていただいています。

授業の半分ほどは講義形式で進め、残りの半分では様々な視聴覚教材やワークシートを活用して、グループワークを行っています。グループワークの際によく感じることは、学生の皆さんのがんの目標意識の高さと結束力の強さです。和気あいあいと自由に意見を出し合った後に、各グループでうまく意見をまとめてください、その意見から私も多くのことを学んでいます。

(関西学院大学 講師：浅野 貴彦)

成人看護学「がん看護」を担当しています。がん医療において、がん自体、そして治療も必ず苦痛を伴います。その中で看護の役割は大きいです。がん看護の大切さと本質を伝えることができるよう頑張っています。一方、グループワークで、「がんの看護って何？」と議論している姿を頼もしく感じます。看護を追求する姿勢をこれからも持ち続けてもらいたいです。

(姫路赤十字病院 医療社会事業部 看護師長
がん看護専門看護師：北山 さゆり)



成人看護学「がん看護」の乳がんの分野を担当させていただいています。『がん』と聞くと自分には関係ないことと思いがちですが、乳がんの罹患率は上昇していて、15人に1人は乳がんになります。がんは決して遠い存在ではないこと、自分や家族が罹患する可能性があることを知ってもらい、自分や家族のからだに興味を持ってもらいたいと思って授業をしています。

(姫路赤十字病院 6階西病棟 看護係長
乳がん看護認定看護師：三木 利恵)

病棟紹介

ICU (Intensive Care Unit) 集中治療室

ICUでは危機的な状況にある患者さんが合併症を起こさずに回復へ向かうことができるよう、タイムリーに適切な医療の提供ができることを目指しています。

私達看護師は、主に細やかな観察とアセスメントによる適切な生活ケアを行うことにより、患者さんやご家族が危機を脱し日常生活へ戻れるような支援を行っています。そして多職種でのチーム医療が速やかに提供できるように頑張っています。

(姫路赤十字病院 ICU師長
集中ケア認定看護師：今川 真理子)



院内学術研究発表(第26回) 平成26年1月31日(金)

赤十字看護専門学校本社研修を終えて

クラスⅡ

私たち114回生は『第26回院内学術研究発表会』に参加し、「赤十字らしさってなんだろう～私たちの考える赤十字らしさとは～」をテーマに自分たちが考える“赤十字らしさ”について発表しました。本校に入學し、講義や臨地実習、ボランティア活動を通して赤十字について考える機会が多くありました。その中で優しさや思いやりなどの「見えない想いを見るカタチに」変えることこそが赤十字らしさであると考えました。

校長をはじめ病院職員の方々の前での発表はとても緊張しましたが、赤十字の組織の一員として人道の理念を大切にし、今回の学びを活かして臨地実習に励んでいきたいと思いました。

(クラスⅡ)



基礎看護学実習I-1、2、3の取り組みと学生の学び

当校では入学して間もない4月から臨地実習を開始し、患者さんとの関わりを通して様々なことを学びます。実習での体験が看護への関心を高め、また、学生自身が大きく成長できるきっかけになっています。今後も学生の興味・関心を伸ばすことができるような関わりを行っていきたいと思います。

(教務助手：中島 啓子)

平成25年度 災害拠点病院の研修 2月22日(土)

於：神戸赤十字病院

平成26年2月22日(土) 災害拠点病院研修が神戸赤十字病院で行われました。

クラスⅠの40名の学生が傷病者役として参加しました。講義で学んだ知識を活用し、傷病者役を体験することで医療者の配慮や傷病者の心理を学びました。

(専任教師：中林 朝香)



今回の災害発生初動時の医療活動と施設の傷病者受入れ・増床・応援体制等の実働訓練では、傷病者役として参加しました。訓練であっても寒さのなか救助を待つ時間はとても長く感じられ、本当の災害で負傷した場合は、もっと痛みや災害事態の恐さ、不安や孤独状況下で救助を待つのだろうと改めて考えさせられました。訓練に参加することによって災害が起ったときの傷病者としての状況を最大限に想像する機会を得ることが出来ました。

(クラスⅠ)

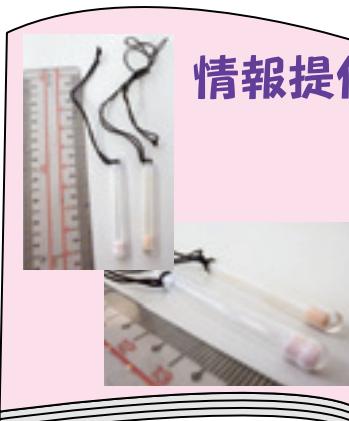
職員紹介



育児休暇を経て、3月より復職しました。育児の大変さを感じながら、日々成長する子どもの姿を側で見守れることが嬉しく思えました。貴重な時間を頂き感謝しております。今後は、学生と共に成長したいと思っています。よろしくお願いします。

(専任教師：神戸 真由美)

情報提供お願いします



遺芳の間の本校史料
これは何に使用するのでしょうか。
色々調べても不明です。
ご存じの方、是非教えて下さい。
(☎ 079-299-0052 柳)



学生奉仕団 院内図書班活動紹介

院内図書班は、病棟の患者さんに図書を貸し出し、辛い入院生活に少しでも癒しと潤いを持っていただこうことを目的に活動しています。平成25年度は、患者さんからいただいた要望を集計し、人気の高かった写真集や料理本などを新規購入し、図書の充実をはかりました。患者さんからの評判も良く、大変嬉しく思っています。また、新しく開設された3階東病棟と4階西病棟にも活動エリアを拡大することができました。これからも、患者さんの声に耳を傾け、癒しと潤いの場を提供できるように精力的に活動していきたいと思っています。

(院内図書班班長)

歴史シリーズ

日本赤十字社女子救護員服制

日清戦争(1894年)に戦時救護員として日本赤十字社から看護婦が初めて参加し、この時本社では女子救護員の服制を定めました。この時は衣と袴に分かれています。桐花章は、左衿前面に救護看護婦は1つ、救護看護婦長2つ、救護看護婦監督3つと決められています。日本赤十字社社員章を左胸につけます。大正15年にワンピース式に変更になり、衿留が定められています。

(副校长長：柳 めぐみ)



参考資料：
日本赤十字社女子救護員
日本赤十字看護職員
赤十字高等看護学院学生
服装について
日本赤十字社衛生部看護課

平和資料館展示紹介

姫路市平和資料館 26年度春季企画展

タイトル：『戦時下の看護活動』

開催期間：平成26年4月12日(土)～7月6日(日)

*企画展は無料

医枢(いきゅう)セットや外科セット、教科書などの本校の史料の一部が展示されます。
どうぞ足をお運び下さい。



オープンキャンパスのお知らせ

日時 8/3(日)、10/5(日) 午後のみ
8/4(月)、8/5(火) 午前・午後

場所 姫路赤十字看護専門学校

内容 本校の施設見学や在校生による催し

*参加希望の方は電話でお申込みください
(079-299-0052)



季節の花々



「君が代の木」

学名は yucca gloriosa 、アツバキミガヨラン、通称「ユッカ」。先の大戦で南方へ救護に派遣された先輩が、持ち帰った木と聞いている。先輩がこの木を持ち帰った理由は「キミガヨ」と自分達の救護の使命感を重ねたのであろう。

(前副校长長：樺山 たみ子)



編集後記

ソチオリンピックでは、10代の選手の活躍とともに、レジェンドと呼ばれる人の活躍もあった。（私にとっては、レジェンドよりはベテランのほうがぴったりくるのであるが）

若い選手の台頭はもちろんうれしいことではあるが、ベテランの活躍には勇気づけられた人も多いのではないだろうか。私自身もその一人である。

どこの世界でも、若者がいれば年配者もいる。まだまだやれることがあるはずだと自分に言いきかせる。

卒業生の皆様、在校生の皆様、あなたにはあなたにしかできないことがあるはずです。期待しています。

(専任教師：名村 かよみ)

